

豊橋技術科学大学開学40周年

記念事業趣意書

40周年



—世界に開かれた技術科学—

# 豊橋技術科学大学開学40周年記念事業趣意書

豊橋技術科学大学は、平成28年10月に開学40周年を迎えます。これを記念し、「世界に開かれた技術科学」をテーマに、次の10年を視野に置いた新しい事業を計画致しました。

本学は、実践力と創造力を備えた指導的技術者の養成という社会的ニーズに応えるため、実践的な技術の開発を主眼とした教育研究を行う大学院に重点を置いた工学系の大学として、昭和51年に高等専門学校卒業生を主たる対象とする新構想のもと設立されました。

この構想を実現するために、技術科学の教育・研究を行い、これまでに多くの技術者・研究者を輩出するとともに、研究、技術開発、産学連携等を通じて社会に貢献してきました。

本学では、技術を支える科学の探究によって新たな技術を開発する学問である「技術科学」の教育・研究を使命に掲げています。この使命のもと、主に高等専門学校卒業生および高等学校卒業生等を入学者として受け入れ、大学院に重点を置いた教育により、実践的・創造的かつ指導的な能力を備えた技術者・研究者を育成するとともに、次代を切り拓く技術科学の研究を行います。また、社会的多様性を尊重し、地域社会との連携を強化します。これらの取り組みを通じて、世界に開かれたトップクラスの工学系大学を目指します。

## 本学の特徴

### 【高度技術者・先導的人材の育成】

高等専門学校からの学生を主な受け入れ対象としつつ、高等学校（工業高校、普通高校）卒業生を1年次に受け入れ、学部・大学院一貫教育により、優れた技術開発能力を持ち、我が国の産業を牽引する高度な技術者を育成します。加えて、広い視野と柔軟な思考力、豊かな学識を兼ね備え、グローバル化時代を切り拓く、研究開発能力を有した先導的役割を担う人材の育成を図っています。

### 【社会産業構造の変化、グローバル化時代に対応し、未来を見据えた新たな教育研究組織の再編】

平成22年度に基幹産業を支える先端的技術分野と、持続的発展社会を支える先導的技術分野を2本の柱とし、工学部・工学研究科を再編しました。また、同時に、高い専門性に加え、幅広い視野を持ち、社会の変化に柔軟に対応できる技術者を養成することを目的に、教養教育を総括する総合教育院を設置しました。

### 【特色ある教育（らせん型教育、長期実務訓練）】

本学における教育の大きな特徴は「らせん型教育」にあります。学部1・2年次及び高等専門学校において一定の技術教育（基礎・専門）を修得した学生に対し、3年次以降、より高度な基礎・専門を繰り返して「らせん型」に積み上げていく教育を実施しています。学部4年次（大学院進学前）には、産業界で長期実務訓練を行い、実社会における技術者としての問題への取り組み方を学生のうちから体験することにより、博士前期課程における実践的・創造的、指導的な能力を備えた技術者・研究者となるための高度な教育の意味を理解していきます。

このように、基礎・専門を繰り返して学んだ上で、社会での実践教育を経験することにより、科学を理解し、技術に高い関心を持つ学生を育てるのが本学の特徴です。

### 【大学院に重点を置いた教育体系】

近年、産業界における工学系学生の採用の比重は、大学院修了生に移行しています。そこで、本学では学部・大学院一貫教育を掲げ、大学院博士前期課程の定員を多く設定することで、相応の力さえあれば博士前期課程に進むことができるように配慮しています。また、大学院教育に合わせて教員を配置しているため、教員1人当たりの学生数は他大学に比べ極めて少なく、密度の高い充実した少人数教育を行える体制を整えています。

## 【研究大学(基盤を支える研究、先端分野の研究)】

---

本学は、平成25年度に、世界水準の優れた研究活動を行う大学を支援する研究大学強化促進事業の支援対象校に選定されました。

電気電子工学や情報学を基盤とした先端融合研究創成分野、機械工学や材料工学などの基幹産業を支える実践的技術分野、生命・環境関連分野などの先端的な研究を推進するとともに、従来の分野の垣根を越えた課題解決型工学から、新しい価値を創造する価値創造型工学に進化した異分野融合イノベーション研究を推進する拠点の形成を目指しています。

## 【高等専門学校との連携】

---

高等専門学校教員との教育・研究交流を推進するとともに、本科4・5年次及び専攻科生に対しては体験実習を実施します。また、編入学生に対しては、入学から修学、大学院への進学、就職、指導的技術者になるまでの教育を一貫して行う環境づくりを、高等専門学校教育課程と連携して進めています。

## 【活発な国際交流】

---

世界に開かれた大学として、国際交流実績の高い東南アジア諸国を中心に、マレーシア・ペナン州に開設した海外教育拠点や交流協定校との連携などを通じ、日本人学生の派遣、外国人留学生の受け入れ、国際共同研究・人材交流などを推進しています。

## 【多様な産学官連携と地域社会との連携】

---

開学以来、企業との共同研究等を通じた産学連携拠点の形成を使命の一つとしており、教員1人当たりの特許出願件数や特許権実施等収入の高い実績を踏まえ、国や地域産業界との連携を深めています。

さらに、全学の「知」を結集し、愛知県をはじめとする周辺地域が抱える課題の解決対応事業や「集積回路(LSI)技術講習」および「IT食農先導士育成コース」などの実績を活かした社会人学び直し事業を進めています。

各界からのご理解とご支援を賜り、平成28年10月に開学40周年を迎えますが、本学では文部科学省が推進する大学改革に伴う各種プログラムに積極的に挑戦し、「国立大学改革強化推進事業」、「博士課程教育リーディングプログラム」、「研究大学強化促進事業」及び「スーパーグローバル大学創成支援事業グローバル化牽引型(タイプB)」に採択されるなど、新たな時代に対応できる大学づくりを進めています。今後は、グローバル化、大学院教育の充実、研究力強化の一層の促進に取り組み、国際的に通用する更に高い教育と研究レベルを目指していきます。

そして、これらの目標を達成する上で、最も重要な点は、大学は本来、学問を学び、深める「教育と研究の府」であるという原点に立ち返って、学生や教師が自由闊達に語り合ったり、ひらめきに依拠して思うままに研究の行える環境を整え、教育と研究の喜びを享受できるようにすることです。そのためには、教職員及び学生が相互扶助の精神で、知性と健康のバランスの取れたキャンパスライフを充実させていくことが不可欠です。本学では、教職員及び学生の皆さんとともに、そうしたキャンパスづくりに努力していく所存です。

本学では開学40周年を迎えるのを機に、各界の期待に添うべく、「世界に開かれた技術科学」をスローガンとして、今後の発展に向けて、新たな事業を推進していく所存です。事業の内容につきましては別紙の通りですが、その柱は、1) 産学連携・社会連携に関する事業、2) 学生支援の充実に関する事業、3) 機能強化に向けた重点プロジェクトの推進となっております。

本記念事業の趣旨および事業内容にご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

---

平成27年10月  
国立大学法人豊橋技術科学大学長 大西 隆  
豊橋技術科学大学同窓会長 古野 志健男  
豊橋技術科学大学開学40周年記念事業発起人一同

## 豊橋技術科学大学開学40周年記念事業の概要

### 1) 産学連携・社会連携に関する事業

- 技術科学イノベーション研究機構の設置
- 先端共同研究ラボラトリーをベースとした民間との連携
- 社会人学び直し、地域文化の振興、地域産業の発展に資する事業の実施
- 寄附講座、連携研究室等の設置

### 2) 学生支援の充実に関する事業

- 宿舍のグローバル化・充実
- 学生課外活動施設の整備・充実
- 憩いと潤いのあるキャンパス環境の整備
- 心と体の健康増進施策の実施
- 留学生を含む学生支援の強化・充実

### 3) 機能強化に向けた重点プロジェクトの推進

- スーパーグローバル大学創成事業の推進
- 博士課程教育リーディングプログラムの推進
- 研究大学強化促進事業の推進
- 国立大学改革強化推進事業の推進

### 4) 40年史の編集と発行

### 5) 40周年記念式典、記念講演会等の実施

以上

# 発起人名簿

学 長	大 西 隆					
理 事	大 貝 彰	井 上 光 輝	鈴 木 章 文			
副学長	寺 嶋 一 彦	井 上 隆 信	原 邦 彦			
特別顧問	神 野 信 郎	石 田 誠				
学長特別補佐	伊 津 野 真 一	三 浦 純	若 原 昭 浩			
経営協議会委員	鎌 土 重 晴	合 田 隆 史	佐 原 光 一	谷 口 功	古 野 志 健 男	吉 川 一 弘

## 名誉教授

青 木 克 之	大 久 間 慶 四 郎	川 上 正 博	榊 原 建 樹	田 所 嘉 昭	英 貢	松 爲 宏 幸
青 木 伸 一	大 澤 映 二	河 邑 眞	榊 佳 之	寺 澤 猛	浜 島 昭 二	水 野 彰
阿 部 英 次	太 田 昭 男	菊 池 洋	清 水 良 明	長 尾 雅 行	日 比 昭	三 田 地 紘 史
石 田 誠	大 呂 義 雄	木 曾 祥 秋	神 野 清 勝	中 川 聖 一	廣 島 康 裕	安 田 好 文
磯 田 定 宏	沖 津 昭 慶	北 尾 高 嶺	鈴 木 慈 郎	中 村 俊 六	福 岡 秀 和	山 口 誠
伊 藤 健 兒	小 沼 義 昭	北 田 敏 廣	鈴 木 康	中 村 雅 勇	藤 井 壽 崇	山 本 淳
伊 藤 浩 一	恩 田 和 夫	小 崎 正 光	関 野 秀 男	西 永 頌	星 鐵 太 郎	山 本 眞 司
伊 藤 光 彦	角 徹 三	小 杉 隆 芳	高 木 章 二	新 田 恒 雄	堀 内 宰	横 山 光 雄
稲 垣 康 善	角 田 範 義	後 藤 圭 司	高 橋 正	野 口 精 一 郎	本 多 波 雄	吉 田 明
上 村 正 雄	加 藤 史 郎	小 林 俊 郎	高 山 雄 二	野 田 進	本 間 寛 臣	米 津 宏 雄
白 井 支 朗	金 子 豊 久	小 松 弘 昌	竹 市 力	野 田 保	本 間 宏	渡 邊 昭 彦
梅 本 実	亀 頭 直 樹	逆 井 基 次	竹 園 茂 男	野 村 武	蒔 田 秀 治	(五十音順)

## 教授

青 野 雅 樹	岩 佐 精 二	加 藤 三 保 子	柴 田 隆 行	都 築 和 代	堀 川 順 生	宮 田 讓
浅 野 純 一 郎	井 上 隆 信	河 村 庄 造	章 忠	中 内 茂 樹	増 山 繁	武 藤 浩 行
足 立 忠 晴	上 原 秀 幸	北 村 健 三	鈴 木 新 一	中 澤 祥 二	松 島 史 朗	森 謙 一 郎
飯 田 明 由	内 田 裕 久	栗 山 繁	大 門 裕 之	中 野 裕 美	松 田 厚 範	柳 田 秀 記
池 松 峰 男	内 山 直 樹	小 島 俊 男	高 嶋 孝 明	平 石 明	松 本 明 彦	若 原 昭 浩
伊 崎 昌 伸	梅 村 恭 司	齊 戸 美 弘	高 橋 由 雅	福 田 光 男	松 本 博	(五十音順)
井 佐 原 均	浴 俊 彦	齊 藤 大 樹	滝 川 浩 史	福 本 昌 宏	三 浦 均 也	
石 田 好 輝	大 平 孝	坂 本 和 子	田 中 三 郎	藤 戸 敏 弘	三 浦 純	
市 川 周 一	岡 田 美 智 男	櫻 井 庸 司	辻 秀 人	藤 原 孝 男	三 浦 博 己	
伊 津 野 真 一	加 藤 茂	澤 田 和 明	寺 嶋 一 彦	穂 積 直 裕	三 崎 幸 典	

## 同窓会役員

古 野 志 健 男	関 下 信 正	山 田 基 宏	高 木 宏 幸	加 藤 博 明	佐 藤 裕 久	松 尾 幸 二 郎
高 嶋 孝 明	戸 高 義 一	田 崎 良 佑	秋 田 一 平	山 田 実	栗 田 弘 史	Tan Wai Kian
山 本 一 公	安 部 洋 平	秋 月 拓 磨	後 藤 太 一	小 林 暁 雄	岡 辺 拓 巳	Soda Chanthamath
稲 田 亮 史	今 村 孝	河 野 剛 士	川 島 朋 裕	立 間 淳 司	松 本 幸 大	蒲 原 弘 継

## 事務局

鈴木章文 西村泰雄 山内和哉 萩平弘 戸部精侯 渋谷省一 清水由紀子 植松秀也 森田一司 松本哲夫 柴田武彦



40周年



—— 世界に開かれた技術科学 ——

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1  
国立大学法人豊橋技術科学大学  
ホームページ…<https://www.tut.ac.jp/40th/>

●40周年記念事業に関するお問い合わせ先●

開学40周年記念事業推進室(総務課内)  
電話 0532-44-6504  
※電話受付 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)  
FAX 0532-44-6509  
E-mailアドレス… [tut40th@office.tut.ac.jp](mailto:tut40th@office.tut.ac.jp)

●寄附に関するお問い合わせ先●

開学40周年記念事業募金担当(研究支援課内)  
電話 0532-44-6982  
※電話受付 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)  
FAX 0532-44-6984  
E-mailアドレス… [kensien@office.tut.ac.jp](mailto:kensien@office.tut.ac.jp)